【記入例】

令和６年度富山県建築文化賞 建築功労賞推薦書

令和６年〇〇月〇〇日

富山県建築文化賞協議会会長 殿

富山県建築文化賞建築功労賞として下記の者を推薦したく、関係書類を添えて申込みます。

推薦団体（会員）名称 一般社団法人〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

代表者（役職・氏名） 会長 〇〇 〇〇〇

職種	〇〇〇工	職歴	在職期間	在職年数
ふりがな 氏名	けんちく しろう 建築 士郎	㈱〇〇工事店 ㈱〇〇店	S61年４月～H4年３月 H4年４月～現在に至る 年 月～ 年 月	６年 32年 年
生年月日	昭和〇年〇月〇日		年 月～ 年 月	年
年齢	〇〇歳		年 月～ 年 月	年
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地		年 月～ 年 月	年
			年 月～ 年 月	年
			年 月～ 年 月	年

勤務先	（事業所名） ㈱〇〇工務店 （所在地） 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	免許・資格	取得年月
		〇〇〇〇1級技能士 〇〇〇〇	S〇年〇月 S〇年〇月

推薦理由	（職能にかかる実績の概要） 400年余り屋根瓦葺き職人一筋に従事されてきた。その間、砺波散居村の民家に多く見られる吾妻建ちの屋根瓦葺きや多くの神社仏閣を手掛けられ、特に神社仏閣の棟瓦や、雨水を破風側へと流す役割を果す蓑甲瓦葺き等の特殊技術を得意とされている。 日本瓦は日本建築としてなくてはならないものであり、砺波散居村の美しいたたずまいの大きな要素を占める瓦屋根を氏は永年地域に根差す瓦職人として従事し、建築文化に対しても寄与されてこられた。 （後進指導育成の功績の概要） 当組合の主催する工事コンクールなどに積極的に参加するとともに、その技術を組合同業者などに指導している。また、若手社員の技能士試験の指導にあたり、1 級技能士資格取得につながった事などの他、若手技能者の技術向上に尽力している。 （国・県の実施する他の表彰を受けていないことの確認） ☑ 受けていない
表彰歴	（現在までに受けた建築に関する技能についての受賞歴） H〇年 富山県技能士会技能コンクール優秀賞
推薦者 連絡先	（会社（団体）名）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 （担当者氏名） 〇〇 〇〇 （住所）〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 （TEL）〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 （E-Mail） 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇.〇〇.〇〇

※ 業績の内容の判る写真、資料、資格証の写しなどを別途添付して下さい。